しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL：52-1275
FAX：52-1415
発行日
令和３年２月10日

初夢

２０２１年の年頭に立って

会長
小沼郁亙

新年あけましておめでとうございます。２０２１年、令和３年の年が始まりました。21世紀がスタートして21年目の年。小名浜まちづくり市民会議も誕生から21年目を迎え、共に〝成人〟としての動きが求められる年になると思います。

昨年はコロナ禍で市民会議の活動も思うように進められない中、いち早く役員定例打合せにＷＥＢ会議を取り入れるなど活動の停滞を最小限に抑えてきました。

また、いわき花火大会が中止になる中、前年度に開催した「クリスマスマーケット」を拡大開催するべく準備し、花火の継承を含めて開催。約８０００名を超えるご来場でアクアマリンパークの賑わいを創出しました。加えて、「小名浜まちづくりグランドデザイン」がまとまったことを受け２度目の〝トイボ（グリーンスローモビリティー）〟の実証実験を開始。グランドデザインで目指す次世代の公共交通システムの模索に着手したところです。各種の活動に対し関係各位のご協力に厚く御礼を申し上げます。

さて、２０２１年は「小名浜まちづくりグランドデザイン」の内容をアクションプログラムに落とし込み、〝私たちが住みたいまちづくり〟に向け、関係機関との連携の中でできることから具体的な活動に着手して参ります。更に冬のイベントの賑わいづくり、新たな小名浜の見どころづくり、として進化させていきたいと思います。

市民会議も活動開始から20年の時を経て、個人会員150名、企業会員100社、団体会員10団体の約260名で組織する団体に成長させていただきました。会員数はある意味では想いを一つにする姿の見える化だと思います。会員数を増加させ、より多くの皆さんの声をまちづくりに活かしていける〝大人な団体〟を目指して成長していきたいと思います。

今年もよろしくお願い申し上げます。

クリスマスマーケット in アクアマリンパーク 開催

小名浜まちづくり市民会議20周年を記念して12月19日(土)・20日(日)の２日間、小名浜港アクアマリンパークでクリスマスマーケット２０２０inアクアマリンパークを開催しました。

会場には11月末に設置したクリスマスツリーを中心にステージや約30店舗のマーケット、メリーゴーランドや飲食スペースなどが建ち並び、潮目交流館では20周年を記念した小名浜のまちづくり年表と写真展の他、ワークショップや占い、クリスマスオーナメントやグッズ、屋内ステージなど家族でも楽しめる内容で行いました。

初日は風が非常に強く、会場イベントの一部内容を変更し開催しました。強風と低温により人出は予想を下回りましたが、白百合幼稚園の園児のコーラスやフラダンス、多くのアーティストのステージで盛り上がりました。18時からはいわき花火大会実行委員会有志による花火がクリスマスソングに合わせて打ち上げられ、冬の澄み切った夜空に大輪の花が広がりました。

日曜日の２日目も強風でしたが多くの来場者があり、小名浜一中・二中の吹奏楽の演奏に始まり、大道芸やフラダンス、多くのアーティストの演奏、抽選会などが行われ、会場のマーケットでもたくさんの方々が買い物を楽しむなど、訪れた方々は終始小名浜らしいクリスマスイベントを楽しんでいるようでした。

変わりゆく小名浜 ⑬
～いわき小名浜の観光遊覧船～

令和元年（２０１９年）９月８日を以て「㈱いわきデイクルーズ」が乗組員の高齢化や船の老朽化、後継者不足などを理由に運航をとりやめてから、約１年８カ月の時を経て、新たに事業運営会社が立ち上がり、今春（２０２１年）４月に新しい遊覧船が就航を迎えようとしています。

以前は、小名浜港１号埠頭を拠点に県内初の大型海上遊覧船として脚光を浴び、活気づく小名浜港湾で快適な洋上遊覧ができると評判でした。

初日の出クルーズやイベント運航に加え、学生の郊外学習の場としても評価を高め、多数の利用者を数えましたが、東日本大震災に見舞われ、１年ほどの運航休止の後、利用客が激減しました。県外の旅行会社へ営業を強化し震災前の６割程度まで利用客は回復しましたが、運行技術者の高齢化などの様々な問題が発生し、その運営に終止符がうたれました。

しかし、いわき小名浜の観光資源を象徴する観光遊覧船の廃止を惜しむ声が多く、日頃から身近に接してきた方々から、「アクアマリンパークに遊覧船があるのが当たり前の日常でした」などの言葉も聞かれる中、再運航を望む声が増え、改めて海洋、港湾への理解、利活用という観点から、行政、地域、民間等が連携・協力し、新しい事業運営会社が設立されました。

新たな観光資源・港湾機能と地域産業への理解、地域振興、さらには水産関係の人材育成の場として、「㈱小名浜デイクルーズ」が設立されたのです。

観光物産センターいわき・ら・ら・ミュウ、水族館アクアマリンふくしまと並び、存在感があった観光遊覧船は、小名浜にはなくてはならない存在であり、今後も小名浜の象徴となるべく準備を進めているところです。

４月の新就航に向け準備が進んでおり、パーティーとにワークショップを行い、小名浜地区のコミュニティ交通の理想像について話し合い、各参加者ともユニークなアイデアを出しながらも真剣に小名浜のコミュニティ交通について話し合いをした全体会議でした。

11月全体会議

昨年11月25日（水）まちづくりステーション小名浜３階会議室において11月全体会議が開催されました。

今回はいわき市役所　創生推進課鈴木祐太主査をお招きし、昨年も実証実験を行ったグリーンスローモビリティー〈愛称：トイボ〉を活用した「まちづくり」についてお話しいただきました。

高齢化が進む昨今の事情からスマート交通の在り方や、次世代交通システムの実証について説明を受けました。

説明後には、グループごとにワークショップを行い、小名浜地区のコミュニティ交通の理想像について話し合い、各参加者ともユニークなアイデアを出しながらも真剣に小名浜のコミュニティ交通について話し合いをした全体会議でした。

クルーズやイベントクルーズはもちろんのこと、震災の語り部による震災学習や港湾機能の学習遊覧、さらには船の愛称募集を実施するなど、地域の方々に親しんでもらい、誰からも愛される観光遊覧船になるよう、さまざまな企画を用意していく予定です。

地元の皆様には是非、足を運んでいただき、小名浜港の遊覧を楽しんでいただきたい。子供たちに自分の街を海から見る機会を作っていきたい。そんな思いを込めて船出して参ります。ぜひ、小名浜の遊覧船の応援団になっていただきたく、宜しくお願い申し上げます。

小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ
全体会議開催のお知らせ

2/22 月ようび　まちづくりステーション小名浜３階において、２月全体会議を開催します。今回は今春 ４ 月に就航予定の「小名浜デイクルーズ」についてお話しいただきます。会員の皆様は是非、ご参加ください。

※コロナウィルス感染の状況によって、予定が急遽変更になる場合もあります。　詳しくは小名浜まちづくり市民会議にお問い合わせください。

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時 FB に活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

©小名浜まちづくり市民会議／福島ガイナックス

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費　個人会員：3000 円　企業会員：20,000 円　団体会員：12,000 円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL：52－1275　FAX：52－1415
http://www.onahama.jp/　E-mail：info@onahama.jp

この広報紙は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。